

せとうち防災リーダー フォローアップ研修

事例報告②：大土井自治会自主防災会

令和6年12月18日(水) 中央公民館 多目的ホール





- これまでの取り組み
- 課題
- 防災リーダーとしての思い



これまでの取り組み

大土井地区について



- 邑久町玉津地区の西端に位置
- 43世帯 人口91人 高齢化率44.0%（令和6年12月時点）
- 地域のハザードは、地震（最大震度6弱）、液状化、L2水害、土砂災害（急傾斜特別警戒区域有り）
- 令和6年6月に「大土井自治会自主防災会」として市に承認される
- 防災会は自治会役員（1～2年の輪番）＋防災リーダー4名で運営

自主防災会の立ち上げ(再始動まで)



- 平成2年、縁あって大土井へ移住。生まれは愛知
- 平成5年の阪神淡路大震災では、当時の町おこしグループで物資輸送などで支援
- 地区では10年ほど前に自主防災会設立の準備が整いつつあったが、実現せず停滞～コロナ禍に
- コロナ禍では地区内、地域内の人と
出会う行事はほとんど停止

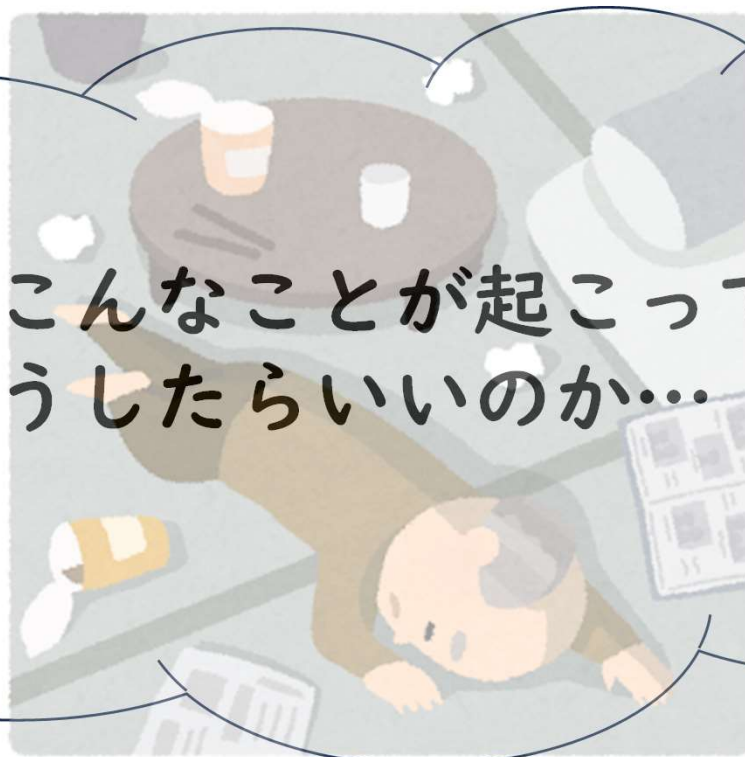


自主防災会の立ち上げ(再始動まで)



- 令和4年度に地区内で独居の方が亡くなって発見される（2件）

二度とこんなことが起こってほしくない
でもどうしたらいいのか…



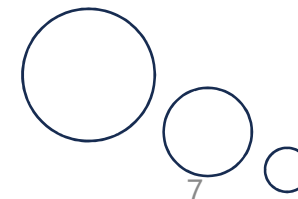
自主防災会の立ち上げ(再始動まで)



- 令和5年度、輪番で行政委員（自治会長）になる

二度とあんな悲しいことが起こらないように、
地区のみんなが一つになって何かに取り組めば
良いのでは！

…でも、何をすれば良い？



自主防災会の立ち上げ(再始動まで)



- 令和5年 = 関東大震災から100年
メディアで様々に取り上げられ、関心を呼ぶ

止まっている防災会を
立ち上げたら良いのでは？！

- 自治会の役員会で提案したところ、震災百年の
番組などをみんな見っていて賛同が得られた

自主防災会の立ち上げ

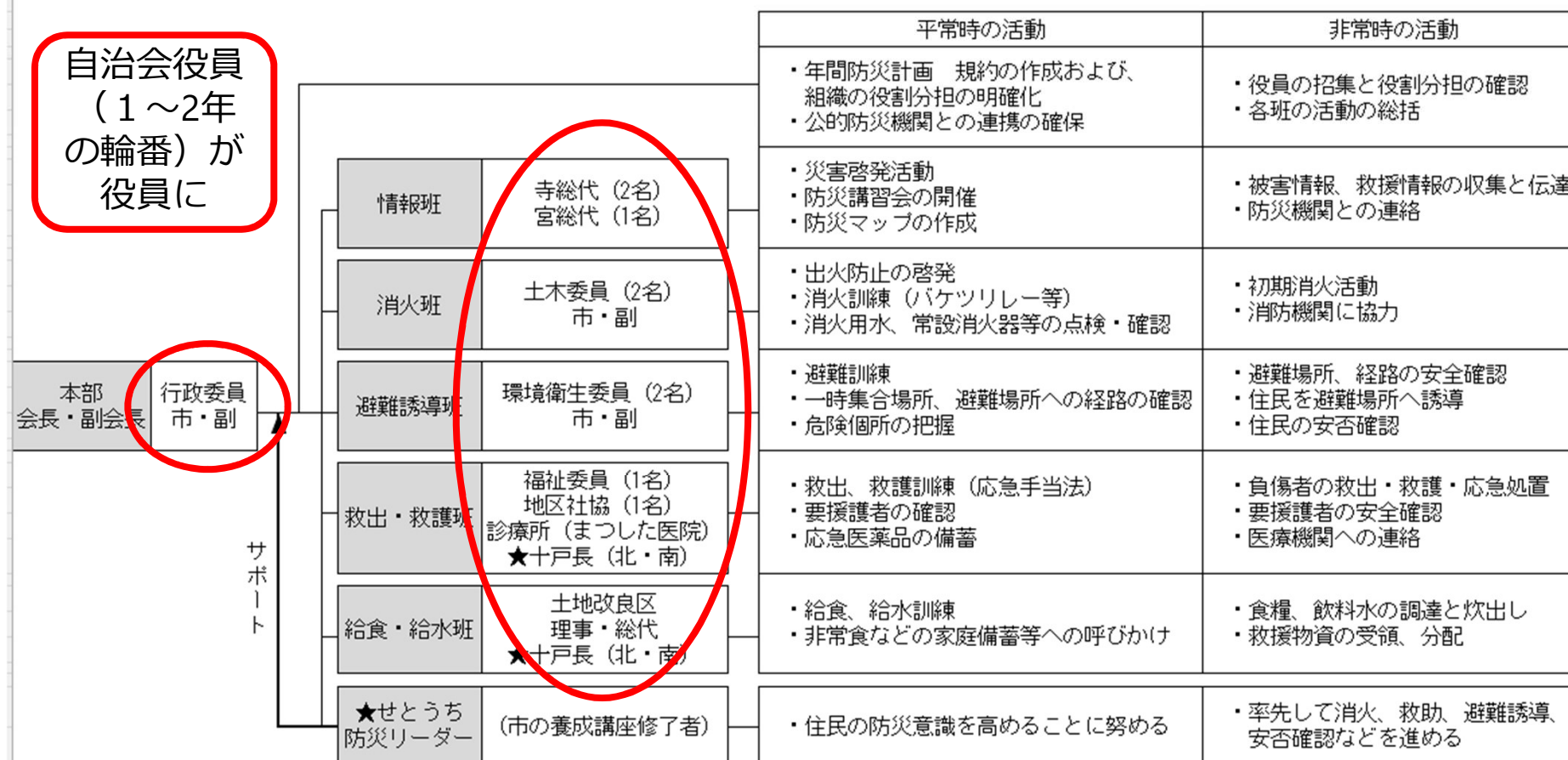
R5	6/10	防災出前講座開催 『みんなでつくる 災害に負けない 大土井のつくりかた』 講師：危機管理課 参加11人	<div data-bbox="1518 145 1742 180" data-label="Text"> <p>防災出前講座のお知らせ</p> </div> <div data-bbox="1856 135 2002 236" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1664 226 1854 256" data-label="Text"> <p>みんなでつくる</p> </div> <div data-bbox="1518 266 2002 308" data-label="Text"> <p>災害に負けない大土井のつくりかた</p> </div> <div data-bbox="1541 339 2002 612" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1518 643 2002 807" data-label="Text"> <p>令和5年6月10日(土) 午後7時～8時 大土井公会堂にて お話：市危機管理課職員 申込不要 途中入場・退場もご自由に 主催 大土井自治会 問合せ 080-2913-7596 松川</p> </div>
	7/2	クリーン作戦 地区のハザードマップ（仮）と安心米を 参加者に配布 参加24人	
	9/3	自治会役員会で防災会設立承認	防災リーダー 研修受講
R6	4/1	自治会総会で防災会設立承認	
	6/5	市に自主防災組織認定申請書提出、認定	



R6(2024).7月

大土井自治会自主防災会 組織編成図

自治会役員
(1~2年
の輪番)が
役員に



★十戸長(北・南)、せとうち防災リーダーは令和6年7月の会合で追加が承認された。

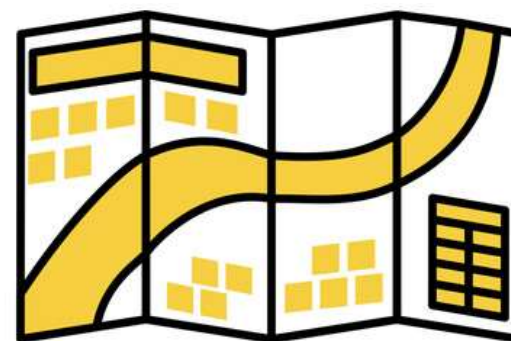
今年度の取り組み



- 7/14 玉津地区防災訓練へ参加（会長、防災リーダー）
- LINEグループ『防災大土井』開始（現在12名）
- 地区防災マップづくり（4号事業を申請）
- 防災資機材整備（2号事業を申請予定）
- 避難時要配慮者の把握のための情報収集（アンケート）
- 月例会合（役員のみのでの会合 → 『ぼうさいカフェ』）
- 広報紙作成（回覧 → 全戸配布）



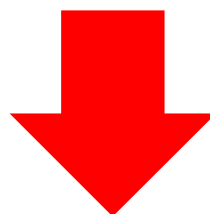
防災マップづくり



防災マップづくり



- 南海トラフ地震に強い危機感を持つ防災リーダーが提案
- みんなで地区内を歩いてみて、危険個所・避難場所になりそうなところをチェックし、マップにまとめ、印刷物にして各家庭に配布しよう



『屋外スピーカー放送体験』 『ガス発電機操作体験』
と合わせて『**防災訓練**』として日曜日に実施

事前準備



屋外スピーカー

いざ！というとき
誰でも使えるように
放送の仕方を確認

ガス発電機



災害停電時にいち
早く灯りをつけて
安心・安全を確保



マップの用意

防災マップづくりを含む第1回防災訓練

令和6年10月20日（日）9:30～お昼

- ① 瀬戸内市防災アプリの紹介



- ② 屋外スピーカー放送体験、ガス発電機操作体験
- ③ 防災マップづくり

全員で4エリアに分かれて歩き危険個所等を
チェック

その後役員を中心に地図にまとめる（継続中）

18名参加



屋外スピーカー放送体験



ガス発電機操作体験



防災まち歩き



は防災リーダー

ふりかえりー 良かったこと



- 強い思いを持ったリーダーが先頭に立って企画から実施まで関わってくれた
- 思ったより多くの人に参加してくれた。役員以外の人、女性や小学生も参加してくれた
- 屋外スピーカー放送、ガス発電機操作ともみんなが積極的に体験してくれた
- グループに分かれてまち歩きをしながら、話がはずんだ。共通の思い出は懐かしく、知らなかった話は新鮮だった

みんなが集まる場がもてた

ふりかえりー むずかしかったこと

- 開催までのスケジュールがタイトで、周知が十分にできなかった。申請や準備物の購入もギリギリだった
- まち歩きの前に、手順や役割を説明したがうまく伝わらなかった部分があった
- 歩いた後、役員を中心にマップにまとめたがまだ継続中



ぼうさいカフェ(防災会会合) と 防災だより(広報紙)



防災会会合『ぼうさいカフェ』



- 毎月**第1土曜日夜**を自主防災会の定例会合に
- 2回目からは役員だけでなく**住民だれでも参加**できることに
- **飲み物つき（無料）の『ぼうさいカフェ』**



(第1回)



広報紙『大土井防災だより』



- 令和5年の防災出前講座後に第1号を発行以降会合・イベントごとに発行（現在第7号）
- 発行者：自治会
→ 設立後は自主防災会
- 当初は回覧、第6号より全戸に配布

大土井防災だより 第1号 令和5年6月23日 大土井自治会







↑11人の参加がありました

6月10日（土）夜、公会堂で防災出前講座を開催しました。市危機管理課の職員さんの45分間のお話のあと、皆で感想や意見を出し合いました。

大土井自治会では明日にも起こりうる災害に備えた『自主防災会』の設立にむけて準備中です。

私が、我が家ができること（お話より）

- ① 情報を入手できるようにしておく 
- ② 逃げる時のことを考えておく 
- ③ 家具が倒れないようにしておく 
- ④ 非常持出品を準備する 



みんなでつくろう！ 災害に負けない大土井！

（第1号）

工夫しているところ



	ぼうさいカフェ（防災会会合）	防災だより（広報紙）
日時 など	毎月第 1 土曜日夜 公会堂 飲み物無料	随時（イベントの 後）
周知	チラシを地区内 3 か所に 掲示	全戸に配布
紙面	カラーイラスト 文字は最小限	大きめの文字 短くやさしい文章 写真・イラスト
紙面作成 ツール	Canva（キャンバ） （無料サイト）	Word（文書作成ソフト）

みんなが参加できて、みんなが知っている防災会をめざす

むずかしいところ



- ぼうさいカフェ参加者数の伸び悩み



なぜぼうさいカフェに人が集まらない？



- 「**自主**防災会」＝「やりたい人だけが勝手にやる活動」と思われている？
- **住民みんなの会だと認識されていないのでは？**
- 名前を変えた方がよいのかも？？

最初は少人数でも、続けよりやええんじゃ
続けよるうちにおおぜいになってきたらそれで
ええんじゃ あせらんでも (^ ^)



課題

継続中の取り組み



- 防災マップ作成・防災資機材整備申請準備
役員で継続中
- 避難時要配慮者の把握のための情報収集
10月に十戸長を通じて各戸にアンケートを配布
回収・集計中
- 避難場所・避難所の確保
大土井正八幡宮を届出避難所にする方向で検討中
- 資機材保管場所の確保
住民に協力を依頼し、倉庫の提供の内諾



防災リーダーとしての思い

防災リーダーとしての思い



- もともと地区内の交流は盛ん、週1回の『はつらつ体操』はコロナ禍も乗り越えて6年目
- 防災会がみんなが集うきっかけになったらうれしい
- 令和5年度に市の防災リーダー研修を受講し、自身の防災意識が高まった
- 防災意識の高い人、地区のようすによく目を配る人、パソコンが得意な人など多様な防災リーダーの仲間に助けられている
- ひとりで亡くなる人がもうないように、災害が起こってもみんなで助かるように、防災会が「みんなの防災会」になってほしい

